



商 団 連

第344号

50周年記念特別号

平成29年11月21日

1部 50円

発行所

全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区虎ノ門1-8-10

セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)

電話 03-3591-1251(代表)

編集発行人 平澤和人

創立50周年を迎えて

ご挨拶

全国卸商業団地協同組合連合会

会長 福井 弘



商団連は、昭和42年に設立されて以来、本年をもつて50周年を迎えることができて50周年を迎えることができました。これはひとえに、

中小企業庁はじめ中小企業基盤整備機構、商工組合中央金庫等関係諸機関並びに全国卸商業団地対策議員懇話会の先生方の終始変わらぬご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げますとともに、我々卸商業団地の先輩諸氏の先見性と情熱及び会員組合の皆様のご努力に対し深甚なる敬意を表します。

顧みますと、昭和38年に

中小企業近代化資金助成法

に基づき卸売業に対する初の助成制度が創設され、高崎、金沢、富山、大阪金物、大津食品の5団地が第1号として指定を受け、翌39年には更に6団地が指定を受け、これら11団地の組合により、制度の内容充実と団地相互の連携を目的に昭和39年に「中小企業卸商業団地連絡協議会」が結成されましたが、全国的に卸商業団地設立の機運が高まるとともに、制度の拡充、拡大が急務の課題であり、統一的な助成・指導機関の創設が必要との認識から、同協議会を中心となり関係機関への働きかけを行い、昭和42年に同協議会を発展的に解消し、新たに全国卸商業団地協同組合連合会が設立されました。

卸商業団地が造られ、流通の担い手として、更には雇用の受け皿として地域経済の発展のために大きな役割を果たして参りました。この50年の間、商団連として会員団地の成長発展のため、関係諸機関と緊密な連携のもとご指導・ご協力を得て、その時代時代に応じたニーズに基づき制度の改正や新たな制度の創設のために活動して参りました。

平成21年には、卸商業団地の再整備や卸売機能を強化するための調査研究を支援する「卸商業団地機能向上支援事業」の基金が組成され、平成28年度までに延べ87団地がこの事業を活用し、将来の卸商業団地の成長発展が大いに期待されているところであります。商団連もこの事業を活用

以来今日まで、全国各地

また、平成23年3月に発生した東日本大震災では、商団連においても多くの会員が甚大な被害をうけましたが、独自の災害見舞金を募り、被災した会員はもとより被災地に対して災害見舞金を送ることができました。さらに昨年、会員組合が抱える様々な課題の解決や活性化を支援するために関係各機関の協力をいただき、「商団連会員サポートセンター」を設置いたしました。法律問題を側面から支援するために法律顧問も置いております。

して、卸商業団地がこれまで果たしてきた役割、課題解決への取組み、今後の組合運営、高度化融資制度等について改めて検証を行い報告書を取りまとめました。また、平成23年3月に発生した東日本大震災では、商団連においても多くの会員が甚大な被害をうけましたが、独自の災害見舞金を募り、被災した会員はもとより被災地に対して災害見舞金を送ることができました。さらに昨年、会員組合が抱える様々な課題の解決や活性化を支援するために関係各機関の協力をいただき、「商団連会員サポートセンター」を設置いたしました。法律問題を側面から支援するために法律顧問も置いております。

商団連は創立50周年を一つの節目として、今一度商団連のシンボルマークである、幸せを呼ぶ四つ葉のクローバーの理念である「流通業界の核」となるという原点に返り、時代のニーズに応えられるよう会員のための連合会として、会員の皆様との「絆」を一層強め、緊密な連携と情報交換・情報発信を大切に、卸商業団地の更なる発展、さらには会員企業の成長へ向けての経営基盤の強化、経営力の強化のためにその役割を果たして参りたいと考えております。

住友生命等の関係機関の皆様方との信頼・絆・連携と認識しております。関係各位の一層のご指導、ご支援を心からお願い申し上げますとともに、会員皆様の益々のご発展とご協力を重ねてお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

商団連創立50周年

祝 辞

中小企業庁

長官 安藤 久佳



この度、全国卸商業団地協同組合連合会が創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴連合会は、昭和四十二年に卸商業団地の全国組織として設立されて以来、今日に至るまで、卸商業団地の健全な発展を目指し、その指導力を存分に発揮され、会員意識の統一を図られるとともに、卸商業団地の機能強化に努めてこられたことに心から敬意を表します。また、貴連合会及び組合

員の皆様方は、日頃、中小卸売業の発展と地位の向上のために御尽力され、福井弘会長を始め役員及び会員の皆様方と共に商団連創立五十周年をお祝いすることができまことを大きな喜びとさせていただきます。中小企業・小規模事業者は、地域の経済や雇用を支え、日本経済の屋台骨とも言える重要な存在です。今日の中小企業・小規模事業者を取り巻く経済環境は、全体で見れば数年前に比べて大きく好転していると言えますが、地域や業種、企業規模によって未だ厳しい状況におかれているところがあるのも事実です。中小卸売事業者の皆様におかれましては、長年にわたり地域の隅々まで商品の供給、雇用の受け皿、地域

社会のインフラ整備など、地域経済の発展に大きく貢献してきたところでありますが、近年の我が国の流通産業は、人口変化に伴う国内需要の減少、電子商取引の拡大、流通経路の多様化など、商団連が設立された時からは大きく変化しており、中小卸売業を取り巻く環境も厳しい状況にあると認識しております。

こうした状況を踏まえて、中小企業庁といたしましては、中小卸売業者の皆様が今後とも持続的に発展していただけるよう、設備投資やIT導入に向けた支援等による生産性の向上、円滑な事業承継の促進や人材対策などに、全力で取り組んでまいります。最後に申し上げますが、貴連合会及び組合員の皆様方に

おかれましては、全国卸商業団地協同組合連合会創立五十周年を契機として、卸商業団地の更なる発展・活性化のため、共同化の力を存分に発揮され、今後の経営環境の変化に対応するとともに、卸商業団地の機能を更に充実し、中小卸売業者の良き模範としてより一層の御活躍されることを祈念いたします。私のお祝いの言葉とさせていただきます。



上記のマークは、全国卸商業団地協同組合連合会（商団連）のシンボルマークです。幸せを呼ぶ四つ葉のクローバーを図案化し、構成要素として日本列島の四つの島を象徴しています。形全体に丸みをもたせたのは「協調」と「融和」を意味しています。中央の「商団連」から放射状の線による商流・物流及び情報を各卸団地に流すことを表すことによって、流通業界の核となることを表しています。



商団連創立50周年

祝 辞

全国卸商業団地対策議員懇話会 会長

衆議院議員 細田 博之



全国卸商業団地協同組合 周年を心よりお慶び申し上げます。(商団連)の創立50

私は、昭和42年に通商産業省(現在の経済産業省)に入省しましたが、この年に商団連も創設されたという事で運命的なものを感じております。私と商団連との関わりですが、父吉蔵も松江市出身の衆議院議員でありまして、松江卸センターの皆さんとは親しくさせて頂いておりました。昭和53年に江崎真澄通産

大臣のところに、商団連の皆さんがお見えになったときに紹介されたのが最初の出会いです。約40年の付き合いになります。その後、通産省を退官し平成2年に衆議院議員に初当選させて頂いたときには、大変なご支援をいただきました。そして、各卸団地より推薦された国会議員で形成される全国卸商業団地対策議員懇話会のメンバーに入れていただきまし

た。この懇話会の初代会長が派閥の長でもあった福田起夫先生でいらしたのもご縁で、その後も江崎真澄先生、田村元先生、武藤嘉文先生、尾身幸次先生と歴代の諸先輩方が果たされた職責を引継ぎ、現在、私が6代目会長としての任を務めさせて頂いております。

世の中が混沌とする中で、国際社会における日本の役割が目ざされ、今こそ、政治がしっかりと役割を果たす時です。それには、国民に信頼される政策中心の国会の姿が必要です。これからも真摯に取組んで参りたいと思っております。全国の卸団地は、多くが設立から半世紀を経過し、様々な課題を抱えていると



思いますが、引き続き地域の創造拠点としてその役割を遂行できるよう、私も懇話会メンバーとも協力し、意見交換や議論を重ねながら、商団連の皆様のお役に立てるよう尽くして参ります。最後に、商団連の更なるご発展と会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。お祝いのご挨拶とさせていただきます。

商団連創立50周年

祝 辞

株式会社 商工組合中央金庫

代表取締役社長 安達 健祐



このたび全国卸商業団地協同組合が創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。貴連合会は、昭和39年、11団地により中小企業卸商業団地連絡協議会として発足されました。昭和42年には同協議会が発展改組され、現在、傘下会員は10団体と大きく成長されました。この間が国経済は、高度成長からオイルショック、バブル経済崩壊、そしてリーマンショック、東日本大震災等、目まぐるしい変遷をたげています。貴連合会がこれらの山谷を乗り越えて50周年の大きな節目を迎えらるる、益々ご発展を遂げられておりますことは、福井会長をはじめとする役員並びに会員の皆様のご努力の賜物と深く敬意を表する次第です。

さて、このところのわが国全体の景気は持ち直しの動きがみられ、中小企業の景況感にも改善の兆しが見られております。しかし、将来的には人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業の経営ニーズや課題は一層高度化・多様化することが考えられます。こうした中、組合を中心とした連携組織は、流通の高度化や人材などの経営資源の相互補完といった面で、その役割発揮が期待されております。特に、最近の卸売業を取り巻く流通再編や物流コストの増加、高度情報ネットワークの構築による流通の効率化といった諸課題の対応には、効率的な商品供給や、品揃えの充実、小売店に対する商品提案力・情報提供力の強化等が必要になります。貴連合会の指導の下で、会員組合員

商団連創立50周年

祝 辞

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

理事長 高田 坦史



このたび、全国卸商業団地協同組合連合会が創立50周年を迎えられましたこと

を心よりお祝い申し上げます。

貴連合会におかれましては、昭和42年の設立以来、半世紀にわたり、全国の卸団地組合が抱える諸問題の解決に向けて、各組合への情報提供、情報交換をはじめとする様々なサポートを行うことで、中小卸売事業者の経営の合理化・近代化を後押しするとともに卸団地組合の成長と発展に多大

なる貢献をしてこられました。貴連合会の歴代の役員並びに会員の皆様方の熱意とご尽力に対しまして、深く敬意を表する次第です。この50年間で、日本経済を取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化が進み、人口減少による国内市場の縮小が鮮明となる中、技術革新や生産性向上、海外需要の開拓を通じて本格的な景気回復に向けての官民のさらなる取り組みが期待されるところであります。

卸売業に目を転じてみますと、ICTや物流網の発展に伴い、電子商取引(EC)市場が急拡大するなど、流通経路の大きな構造変化が生じています。まさに、日本の卸売業界は大きな過

渡期にあると言えるでしょう。このような市場環境の変化を踏まえ、中小機構では支援効果をさらに高めるため、販路開拓やビジネスマッチングをはじめ、人材育成や事業承継など、ネットとリアルを組み合わせた機動的な支援の強化に取り組んでおります。また、高度化事業につきましても、市場金利の低下に伴い、貸付利率を過去最低水準まで引き下げており、事業設備・施設のリニューアル等にご利用いただきやすくなっています。組合運営に係るソフト面での支援にも積極的に取り組んでおりますので、他の支援策と併せてご活用いただければ幸いです。時代が目まぐるしく変化

する中、そのニーズを的確に捉え、成長を実現していくためには、全国の卸団地で奮闘されている約6,000社の声を聞きつつ、各組合との連携をより一層強化していく必要があります。そのためにも貴連合会が、今まで以上にネットワーク強化に向けてリーダーシップを発揮されることを期待しております。

結びにあたり、これまでの50年間を支え、さらなる未来に向けて着実に歩みを進めておられる全国卸商業団地協同組合連合会並びに会員の皆様のお喜びの御発展を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

最後に、全国卸商業団地協同組合連合会創立50周年を契機としまして、貴連合会並びに組合員の皆様方がさらに団結を強固にされ、一層ご繁栄されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



商団連創立50周年

祝 辞

全国中小企業団体中央会

会長 大村 功作

全国卸商業団地協同組合
連合会が、創立50周年を迎えられましたことを心より

お慶び申し上げます。
全国卸商業団地協同組合
連合会におかれましては、



昭和42年の創立以来、高度
化融資を活用した各地の卸
団地組合に対して、情報提
供、教育・研修事業の実施
など様々な事業を通じて、
卸売業の経営課題の解決な
ど様々な取組みにより、中
小卸売業界の振興・活性化
に多大な貢献をされてこら
れました。

表す次第であります。
わが国においては、目ま
ぐるしく進歩する情報技術
や少子高齢社会の進展など
により、消費者の生活や消
費スタイルは大きく変わり、
流通業界においても製造
業・小売業との垣根が曖昧
になることにより、その環
境は激変しております。こ
うした社会・経済の大きな
環境変化に対応するととも
に、各地の卸団地において
は、地域の人々のニーズに
応え、まちづくりも担うと
いった役割を果たし、地域
経済へ非常に大きな貢献を
されてきたといえます。

課題となっております。
全国中央会では、地域振
興及び業種別の生産性向上
と働き方改革等を推進して
いくためにも、貴連合会と
これまで以上に連携を深め
て努力してまいる所存であ
ります。
全国卸商業団地協同組合
連合会におかれましては、
創立50周年を契機に、各地
の卸商業団地が地域密着型
の利点を活かし、地域づく
り、まちづくりへの貢献と
組合活動を通じた地域産業
の発展に引き続きご尽力さ
れますことをご期待申し上
げますとともに、関係者の
皆様の一層のご活躍を祈念
し、お祝いのご挨拶といた
します。

商団連創立50周年記念にあたって

全国卸商業団地企業年金基金

理事長 橘高 克和



このたび当基金の母体で
あります全国卸商業団地協
同組合連合会が創立五〇周

年を迎えられましたこと、
心よりお祝い申し上げます。
なお、当基金においては、

平成二十八年三月一日に厚
生年金基金を解散し、同日
に後継制度として新たに企
業年金基金を設立すること
ができました。
これも、全国卸商業団地協
同組合連合会の福井会長を
始め、皆様方の絶大な支
援とご協力をいただいたお
蔭でございます。ここに改
めて心より御礼申し上げます。
現在の基金の状況は、当初
計画通り順調に推移してお

り、平成二十九年二月に一
年が経過し、最初の決算を
迎えたところでございます。
年金財政については、初
年度の決算で約一三億円の
剰余金を計上し、事業所数
七六七社・加入者数一六、
四一〇名の皆様にご加入い
ただいております。
また、解散認可を得た厚
生年金基金は、現在清算を
行っておりますが、厚生労
働省の認可を受け、分配財
産額が確定いたしましたの
で、企業年金基金への交付
と分配を行います。
この企業年金制度は、中小
企業に働く従業員にとって
その果たすべき役割は重要
であることから、信頼でき
る企業年金制度となるよう
引き続き財政の安定化を図
り、将来の生活の安定と福
祉の向上に寄与するため最

善を尽くしてまいります。
今後とも、全国卸商業団
地協同組合連合会と今まで
以上に密接な連携、協力を
取りながら基金運営を行
い、基金への新規加入を
促進することで、将来に向
けて更なる発展を目指して
いきたいと思っております。
最後に、創立五〇周年を
迎えられた今、これまで築
き上げてきた強力なネット
ワークを活用し、会員卸団
地相互の連携を一層強めて
いただき、従来にも増して
活発な事業活動を展開する
ことをご期待申し上げます
とともに、全国卸商業団地
協同組合連合会と会員卸団
地および組合員の皆様の
益々のご発展を祈念いたし
まして、お祝いのご挨拶と
いたします。

中小機構
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

日本の企業の99.7%が中小企業という事実。
個々の企業が強くなれば、日本はもっと元気になる。

中小企業が、日本を強くする。

中小機構 検索

祝 商 団 連 創 立 50 周 年

協同組合札幌総合卸センター

理事長 守 和彦

協同組合石狩新港卸センター

理事長 杉 山隆俊

協同組合青森総合卸センター

理事長 西 秀記

協同組合八戸総合卸センター

理事長 橋 本昭一

青森卸売業協同組合

代表理事 出戸端 勉

協同組合八戸流通センター

代表理事 野 里稗苗

協同組合盛岡卸センター

理事長 藤 村文昭

協同組合仙台卸商センター

理事長 田 中善一

協同組合秋田卸センター

理事長 辻 昭久

協同組合横手卸センター

理事長 和 泉健一

協同組合米沢総合卸売センター

理事長 佐 野雅英

協同組合山形流通団地

理事長 坂 部 登

協同組合酒田流通センター

代表理事 弦 巻 伸

福島卸商団地協同組合

理事長 舟 山昭三

南東北総合卸センター協同組合

理事長 齊 藤久之丞

協同組合須賀川卸センター

理事長 水 上哲夫

会津若松卸商団地協同組合

理事長 山 本真一

協同組合下館総合卸センター

理事長 藤 木章吉

協同組合土浦総合流通センター

理事長 坂 場 辰之介

協同組合栃木卸センター

代表理事 岩 瀬 和夫

宇都宮卸商業団地協同組合

代表理事 羽 石光臣

高崎卸商社街協同組合

理事長 吉 濱 達 三

協同組合前橋問屋センター

理事長 都 丸 正 樹

協同組合川越バンテアン

理事長 小谷野 和 博

協同組合熊谷流通センター

理事長 大久保 和 政

埼玉県南卸売団地協同組合

理事長 溝 口 泰 男

千葉総合卸商業団地協同組合

理事長 石 田 一 太 郎

船橋総合卸商業団地協同組合

代表理事 飯ヶ谷 岐美夫

木更津総合卸商業団地協同組合

代表理事 堀 内 正 一

協同組合東京ベ・マルシエ

代表理事 武 田 洋

小田原卸商業団地協同組合

理事長 清 康 夫

協同組合横浜マーチャングダイジングセンター

理事長 鈴 木 信 晴

協同組合川崎卸センター

理事長 宮 代 久 悦

協同組合新潟卸センター

理事長 片 山 政 博

協同組合長野アークス

理事長 夏 目 潔

協同組合山梨県流通センター

理事長 栗 山 直 樹

協同組合浜松卸商センター

理事長 中 村 泰 平

協同組合静岡流通センター

代表理事 伊 藤 哲

協同組合一宮繊維卸センター

代表理事 滝 幹 夫

協同組合松阪卸センター

理事長 竹 上 秀 洋

協同組合津卸商業センター

代表理事 宮 木 康 光

協同組合富山問屋センター

理事長 長 沼 克 博

協同組合高岡問屋センター

理事長 永田義邦

協同組合金沢問屋センター

理事長 高桑幸一

協同組合福井問屋センター

理事長 上坂泰啓

大阪船場繊維卸商団地協同組合

会長 尾池良行
理事長 俣野富美雄

泉州卸商業団地協同組合

理事長 奥田耕策

協同組合新大阪センシティ

理事長 吉木学

協同組合大阪紙文具流通センター

理事長 林弘之

阪神総合卸商業団地協同組合

代表理事 鍛冶川清司

協同組合鳥取卸センター

代表理事 手石幸洋

協同組合米子総合卸センター

理事長 松本啓

協同組合松江卸センター

代表理事 米原健二

浜田卸商業協同組合

代表理事 吉田稔

協同組合津山卸センター

代表理事 小椋徹範

協同組合岡山機工センター

理事長 岡崎世作

岡山県総合流通センター卸協同組合

理事長 山本勉

協同組合ベイタウン尾道

理事長 福井弘

協同組合福山卸センター

代表理事 卜部文男

協同組合呉食料品卸センター

代表理事 朝日秀弘

協同組合広島総合卸センター

理事長 伊藤學人

協同組合柳井総合卸センター

理事長 西海俊夫

協同組合徳島繊維卸団地

代表理事 林基志

協同組合徳島総合流通センター

理事長 青木秀夫

協同組合松山卸商センター

理事長 河野嘉宏

高知卸商センター協同組合

理事長 町田貴

協同組合福岡卸センター

代表理事 八頭司正典

佐世保卸団地協同組合

代表理事 橘高克和

協同組合長崎卸センター

理事長 石丸利行

鹿児島総合卸商業団地協同組合

理事長 小正芳史

沖縄県卸商業団地協同組合

理事長 赤嶺克己

株式会社ダテハキ

取締役会長 守和彦
(協同組合札幌総合卸センター)

青森問屋町配送株式会社

代表取締役 西秀記
(協同組合青森総合卸センター)

株式会社共同物流サービス

代表取締役 橋本昭一
(協同組合八戸総合卸センター)

株式会社共同電算センター

代表取締役 橋本昭一
(協同組合八戸総合卸センター)

株式会社藤村商会

代表取締役会長 藤村文昭
(協同組合盛岡卸センター)

仙台卸業商事株式会社

代表取締役 田中善一
(協同組合仙台卸商センター)

株式会社SJC

代表取締役 小熊清
(協同組合仙台卸商センター)

株式会社辻源

代表取締役社長 辻昭久
(協同組合秋田卸センター)

株式会社桑原

代表取締役会長 桑原功
代表取締役社長 桑原透
(協同組合秋田卸センター)

有限会社アーカインド

代表取締役 吉濱達三
(高崎卸商社街協同組合)

株式会社フカワビジネス

代表取締役会長 小谷野和博
(協同組合川越バンテアン)

株式会社山半

代表取締役社長 石田一太郎
(千葉総合卸商業団地協同組合)

株式会社フジミ

取締役会長 清康夫
代表取締役 清元秀
(小田原卸商業団地協同組合)

長野総商有限公司
 代表取締役 夏目 潔
 (協同組合長野アークス)

株式会社栗山商店
 代表取締役 栗山直樹
 (協同組合山梨県流通センター)

株式会社浜松卸商団地保険センター
 代表取締役 伊藤 章 哲
 (協同組合浜松卸商センター)

株式会社滝善
 取締役社長 滝 善 藏
 (協同組合一宮繊維卸センター)

株式会社キョー・エイ
 代表取締役社長 高 桑 幸 一
 (協同組合金沢問屋センター)

船場繊維団地振興株式会社
 代表取締役 俣野 富美雄
 (大阪船場繊維卸商団地協同組合)

株式会社ゆめっせビル
 代表取締役 吉木 学
 (協同組合新大阪センシティ)

株式会社庫内
 代表取締役社長 林 弘之
 (協同組合大阪紙文具流通センター)

株式会社米子総合卸センター事業部
 代表取締役 松本 啓
 (協同組合米子総合卸センター)

松江連合青果株式会社
 代表取締役 米原 健二
 (協同組合松江卸センター)

津山卸株式会社
 代表取締役 小椋 徹 範
 (協同組合津山卸センター)

株式会社福井亀之助商店
 代表取締役社長 福井 弘
 (協同組合ベイタウン尾道)

株式会社北洋本多フーズ
 代表取締役社長 本多 隆 士
 (協同組合ベイタウン尾道)

紙 誠株式会社
 代表取締役社長 山北 真也
 (協同組合ベイタウン尾道)

三栄工業株式会社
 代表取締役社長 向井 禎 介
 (協同組合ベイタウン尾道)

株式会社ケンシヨ
 代表取締役 町田 貴
 (高知卸商センター協同組合)

丸松セム株式会社
 取締役会長 八頭司 正 典
 (協同組合福岡卸センター)

佐世保卸団地事業株式会社
 代表取締役 橘 高 克 和
 (佐世保卸団地協同組合)

小正醸造株式会社
 代表取締役社長 小正 芳 史
 (鹿児島総合卸商業団地協同組合)

一般社団法人
 日本ボランタリーチェーン協会
 会長 齋藤 充 弘
 〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目2番13号
 カーニープレイス新御徒町3階
 TEL 03(5818)7321(代表)

祝
**全国卸商業団地協同組合連合会
 創立50周年**

新規加入を随時受付しています

各卸団地組合の組合員企業などで、当基金に加入していない企業の新規加入について、随時ご相談を受付けております。また、他の厚生年金基金の解散に伴う残余財産分配金を持ち込むことも可能です。ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。当企業年金基金が設立してから、新規に加入した企業が8社、従業員537名の皆様が新たにご参加いただいております。

お問合せ 全国卸商業団地企業年金基金
 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054
 〒107-0052
 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

**全国卸商業団地厚生年金基金
 清算業務の進捗状況のご報告**

平成28年3月1日付で厚生労働省から解散の認可を受け、平成30年2月清算結了を目指し清算業務を進めております。

今後の清算状況(予定)について

- ①(平成29年11月28日) 分配財産の「分配」を行います。
- ②(平成30年2月) 厚生労働省へ清算結了に係る決算報告書等の承認申請並びに提出書類等の整理後、清算結了となります。
- ③(平成30年3月) 清算結了を官報に掲載します。

お問合せ 全国卸商業団地厚生年金基金
 TEL 03-3560-3050 FAX 03-3560-3054
 〒107-8419
 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

全国卸商業団地企業年金基金

理事長 橘高 克和
 副理事長 桑原 功
 副理事長 栗山 直樹
 役員 員 一 同

祝 全国卸商業団地協同組合連合会創立50周年

商工中金は、国とともに、
 中小企業をサポートする公的金融機関です。

特長その**1** 長期的な視点で
 安定したお取引

特長その**2** 中小企業の経営課題に対応する
 総合的な支援

特長その**3** 全国と海外のネットワークで
 ビジネスをサポート

特長その**4** 協調と連携で
 地域経済の活性化の力に



商工中金

本店 | 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-10-17
 TEL: 03-3272-6111
<https://www.shokochukin.co.jp/>

あなたの未来を強くする

あなたの未来を強くする **住友生命**

お客さまの人生を守ること
 私たちの仕事の原点はそこにあります。
 安心は、もっともっと前進できる
 何よりも、お客さまの未来を強くしたい
 これが住友生命の想いです。



スマイルアフタースクールプロジェクト



こども絵画コンクール



全国縦断チャリティーコンサート



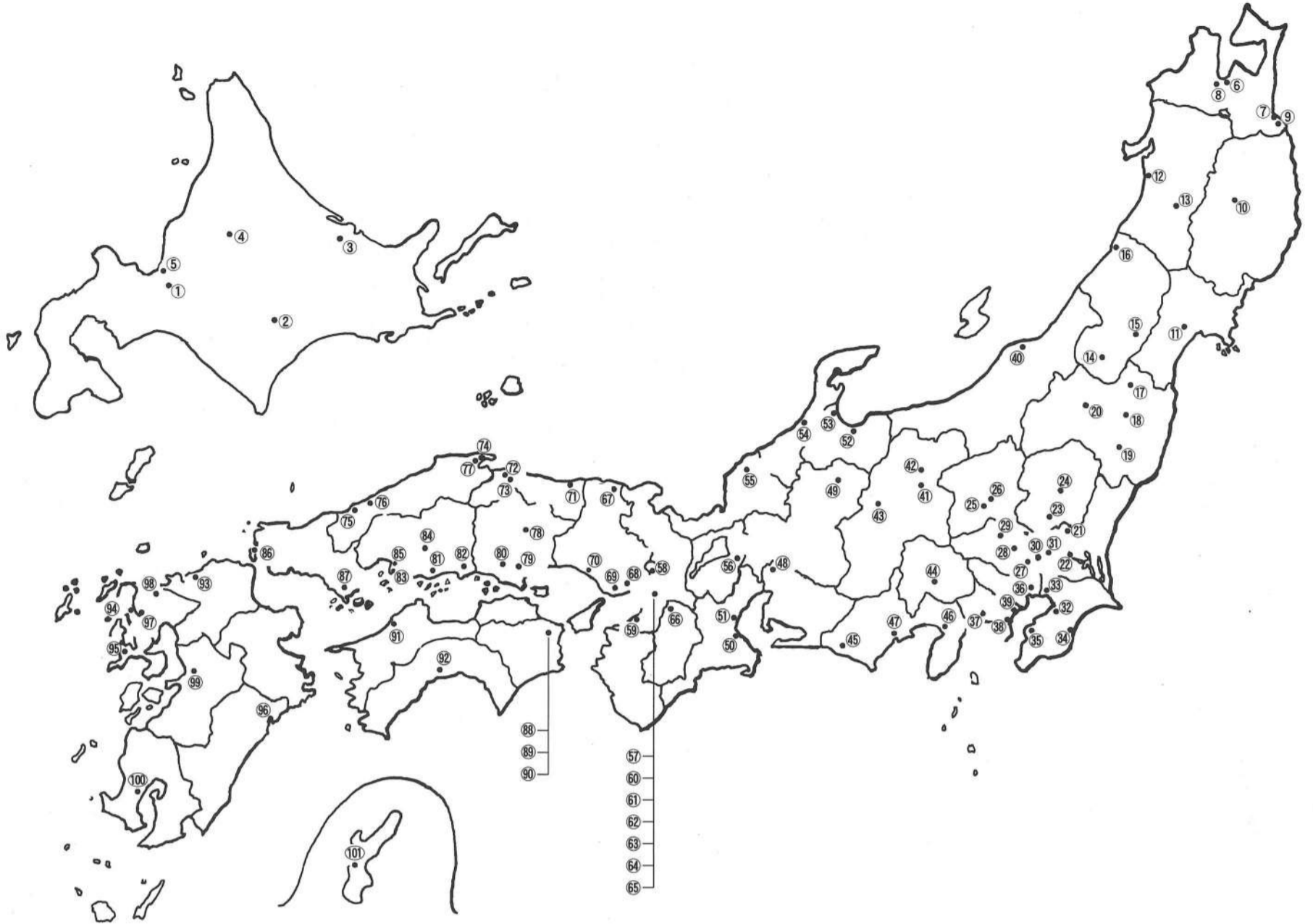
24時間テレビ協賛

**祝
 全国卸商業団地協同組合連合会
 創立50周年**

商団連グループ保険制度受託幹事会社
住友生命保険相互会社
 本 社 〒540-8512 大阪市中央区城見1-4-35 TEL.06-6937-1435(大代表)
 東京本社 〒104-8430 東京都中央区築地7-18-24 TEL.03-5550-1100(大代表)
<http://www.sumitomolife.co.jp>
 生命保険のお手続きやご契約に関するご照会 スミセイコールセンター 0120-307506

会員所在地略図

(○印内の数字は、下表会員ナンバーです)



商団連会員名簿（順不同）

35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木更津総合卸商業団地(協)	茂原卸商業団地(協)	船橋総合卸商業団地(協)	千葉総合卸商業団地(協)	(協)越谷卸センター	埼玉県南卸売団地(協)	(協)熊谷流通センター	(協)川越バンテアン	所沢卸商業(協)	(協)前橋問屋センター	高崎卸商社街(協)	宇都宮卸商業団地(協)	(協)栃木卸センター	(協)土浦総合流通センター	(協)下館総合卸センター	会津若松卸商団地(協)	(協)須賀川卸センター	南東北総合卸センター(協)	福島卸商団地(協)	(協)酒田流通センター	(協)山形流通団地	(協)米沢総合卸売センター	(協)横手卸センター	(協)秋田卸センター	(協)仙台卸商センター	(協)盛岡卸センター	(協)八戸流通センター	青森卸売業(協)	(協)八戸総合卸センター	(協)青森総合卸センター	(協)石狩新港卸センター	(協)旭川流通センター	(協)北見総合卸センター	(協)札幌総合卸センター	
70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36
加古川卸団地(協)	(協)神戸船用品センター	阪神総合卸商業団地(協)	(協)豊岡卸センター	奈良県総合卸商業団地(協)	大阪南港鉄鋼流通(協)	大阪南港中古自動車(協)	大阪メルカート(協)	(協)大阪紙文具流通センター	大阪機械卸業団地(協)	(協)新大阪セイシシティ	泉州卸商業団地(協)	大阪船場繊維卸商団地(協)	大阪金物団地(協)	彦根百貨卸商業(協)	(協)福井問屋センター	(協)金沢問屋センター	(協)高岡問屋センター	(協)富山問屋センター	(協)津卸商業センター	(協)松阪卸センター	(協)高山卸商業センター	(協)一宮織維卸センター	(協)静岡流通センター	(協)沼津卸商社センター	(協)浜松卸商センター	(協)山梨県流通センター	松本流通センター(協)	(協)長野アークス	上田卸商業(協)	(協)新潟卸センター	(協)川崎卸センター	(協)横浜マイチャンダイジングセンター	小田原卸商業団地(協)	
			101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	
			沖縄県卸商業団地(協)	鹿児島総合卸商業団地(協)	熊本流通団地(協)	(協)唐津総合卸センター	有田焼卸団地(協)	(協)延岡卸商業センター	(協)長崎卸センター	佐世保卸団地(協)	(協)福岡卸センター	高知卸商センター(協)	(協)松山卸商センター	(協)徳島総合流通センター	徳島木材卸商業団地(協)	(協)徳島織維卸団地	(協)柳井総合卸センター	下関問屋センター(協)	(協)広島総合卸センター	(協)三次総合卸センター	(協)呉食料品卸センター	(協)福山卸センター	(協)ベイタウン尾道	岡山県総合流通センター卸(協)	(協)岡山機工センター	(協)津山卸センター	(協)松江流通センター	浜田卸商業(協)	(協)益田卸センター	(協)松江卸センター	(協)米子中央食品卸売団地	(協)米子総合卸センター	(協)鳥取卸センター	

(平成29年11月21日現在)